



## 家庭・学校・地域の愛で育まれる

校長 高山 一雄

イチョウの葉もすべて落ち、いよいよ冬到来を感じられる頃となりました。

落ち葉が盛んに落ちていた頃は、早朝から、進んで落ち葉の片付けをしていた子どもたちがいました。大変立派なことだと感心しています。それを見ていた下学年の子どもたちにも手伝う姿が見られ大変うれしく思います。

さて、11月14日は、本校に中学校の先生方が集まり、小・中ジョイントスクールが開催されました。中学校の先生方が、本校すべてのクラスの授業を参観し、小・中学校の児童・生徒の課題解決のために話し合う機会です。主題は次の通りです。

- 1 主題「児童・生徒の自己有用感を育むための小中連携及び地学連携はどうあればよいか」
- 2 主題設定の理由

本学区の児童・生徒は、諸調査の結果から自己有用感があまり高くないという結果が現れている。そこで、小学校における子どもの実態と中学校に入学してからの子どもの成長を小・中学校教員がお互いに確認、共有するとともに、小・中学校において自己有用感を高める具体的な取り組みを実践する。また、本学区の特色である「すこやかみなみネット」を生かし、教職員・保護者・地域住民が協力することにより、児童・生徒の自己有用感を高めていきたい。

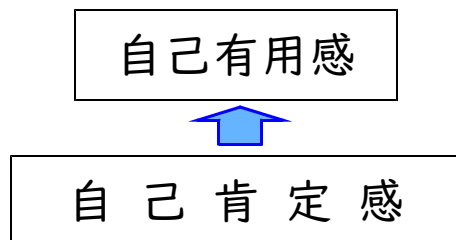
子どもたちのためによく考えられたテーマだと思います。

自己有用感とは…「有用」とあるように、自分が人の役になっているという気持ち。

一方、似たような言葉「自己肯定感」というものがあります。

自己肯定感とは…自分を肯定する気持ち。自分の長所、短所どちらも受け入れて、「自分は自分でいいのだ」と肯定できる気持ち。

このような意味から、私は次の図のように考えます。



自己肯定感は、「今のままでいいんだよ。」という家族的な愛で育まれるもの。そして、自己肯定感が充足してこそ、自己有用感が育まれていく…そのように感じています。自己肯定感が足りないところに、学業の向上、他の役に立つこと、スポーツでの活躍等を強いられたとしたら、子どもたちの心は耐えられず、壊れていくことさえ心配されます。

心理学者の河合隼雄氏は、「過保護なくして親離れはない」の著書に、「子育ては愛。頭で考えるな！幼い子どもは徹底的に可愛がればいい。」と残しました。

白銀南地区の子どもたちが、安心して学び、育つためにも、小中ジョイントをきっかけに、これまで以上に「家庭、学校、地域の愛」が大きく広がっていくことを願っています。

1日(金) すこやかみなみネット情報交換会  
 2日(土) 学習参観日、教育講演会  
 3日(日) 白銀南公民館芸能発表会  
 4日(月) 振替休業日  
 5日(火) 5時間授業15:00下校  
 6日(水) 児童朝会  
 7日(水) 児童朝会  
 11日(月) 年末大清掃週間～15日(金)  
 SC(スクールカウンセラー) 来校日  
 12日(火) 委員会  
 19日(火) 4～6年6時間授業  
 20日(水) 全校朝会  
 22日(金) 2学期終業式、4時間授業13:45下校  
 25日(月) 冬季休業日 ～1月14日(日)  
 引落日



1日(月) 元日  
 8日(月) 成人の日  
 15日(月) 3学期始業式、4時間授業13:45下校  
 16日(火) 学習強化週間～22日(月)  
 冬休み明けテスト、身体計測(5・6年)  
 4～6年6時間授業  
 17日(水) 身体計測(3・4年)  
 18日(木) 身体測定(1・2年)  
 23日(火) 学力テスト(国・理)、SC来校日  
 4～6年6時間授業  
 24日(水) 学力テスト(算・社)  
 25日(木) 引落日  
 26日(金) 白銀南中新生保護者説明会  
 30日(火) 委員会  
 31日(水) 全校朝会

## 11月の出来事



- 11月14日(火)、白銀南中学校の先生方が来校し、全学級の授業を参観しました。発表する様子や友達の発表を聞く様子に、とても感心していました。また、児童の素直な反応に笑顔を見せる先生方もいらっしゃいました。
- 11月17日(金)に第2回スマイル集会を行いました。スマイル集会では、清掃班を基にした1年生から6年生までの縦割り班で、レクリエーションを行います。6年生が活動内容を考え、進行しました。風船バレーや伝言ゲーム、ドッジボールなど、みんなが楽しめるように工夫され、校内が温かい雰囲気に包まれた時間になりました。
- 11月22日(木)、来年度入学する児童の就学時健康診断を行いました。1年生から5年生の児童は、午前で下校しましたが、6年生の児童は、受付や各検査場で案内をしたり先生方の補助をしたりしました。健診に来た子や保護者の方に丁寧に対応することができ、最高学年としての役割を立派に果たしました。



スマイル集会

現在、八戸市の小中学校で、インフルエンザの罹患者が増加傾向にあります。  
 ご家庭でも、手洗い・うがいなどの感染予防をし、お子さんの体調管理にご留意  
 ください。